

大館の歴史散歩

乱川とその流域

流れを
訪ねて ②

乱川は商人留字大沢口を源流とし、松木宇石神で下内川に合流する、およそ九キロメートルにわたり、積内内川だけを流れる川である。

その名からはらんを繰り返す暴れ川の印象が浮かぶが、その名のいわれについて菅江真澄は『賛能辞賀楽美』のなかで「あの山よりこなたさまはみな軍のちまたにて軍君の入り乱れたる名にや」と戦いで兵が入り乱れた戦場にちなんで記している。

大沢口を南下した川は、独立丘の津都山(標高百四十一メートル)にぶつかりその北麓を西流、商人



乱川と乱橋、奥の林は母衣飾りの御所跡

留集落の東南に至る。ここは茂内から四ツ屋道を経て天下道に入り獅子ヶ森東麓を巡り下ったところに当たる。天下道はここから北へ大沢口をさかのぼり積内池に沈んだ沢を通り、白沢の義経伝説を伝える鹿戸野神社前に至る。商人留は天下道を往来した人々が足を留めたことにちなんでの名であろう。川は商人留の南側、獅子ヶ森の北麓を西流し、完ヶ森の西端で流れを南にとる。この地点の北西、JR線との間の台地上が、縄文時代前期の大型岩偶(身長二十三・八センチメートル)を出土した「狼穴遺跡」である。この岩偶は田中慶助氏が発見し、寄付を受けて歴史センターに展示してある。南流する川の西側台地に平安時代の「中台遺跡」がある。未発掘調査地であるが大規模なムラの跡が想定される。川は獅子ヶ森台地と積内内村の乗る台地の間を南西方向に流れ、やがて「乱橋」に至る。北西の台地上に鎌倉執権北条時頼の廻国伝説を持つ実相寺の「積内堂」が、南には浅利氏の女性が生じたという「母衣飾りの御所」と呼ばれる城館跡が神明社境

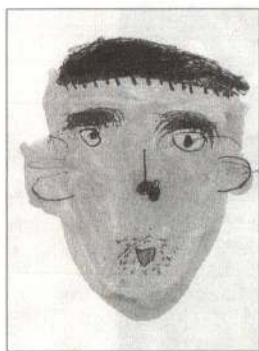
内となって残されている。

時頼伝説の積内堂縁起は積内内の村名起源に関わっていると考えられるが、あるいは乱川の名称も伝説にみえる時頼が懐に抱いていた唐糸前の遺髪がこの川に漂ったことに起因するのでは、ということも一考の余地がある。川はここから積内内の平野部に入り、水田の中を西流し、松木橋東側で下内川に合流する。

積内内へ商人留へ積内池へ白沢へ至るコースは、自然と歴史に恵まれたハイキングコースとしてお勧めできる。是非、計画を立てることから楽しみ、散策を満喫していただきたい。

市役所史跡探訪会

ちびっ子ギャラリー おとうさん



はしば まいちゃん
どうぶつえんにつれてって
くれるからだいすきなの。



しばた あやのちゃん
ふえをつくって、いっしょ
にあそんでくれるよ。



すずき みかこちゃん
かみがちょっとすくないけど、
やさしいお父さんなの。

十二所保育園

おおだてがヒント

クイズ

▽問題

- ①表紙で行っているスポーツは何?
- ②6年度の「市民と語る会」で出された要望、提言の数はいくつ?
- ③矢立ハイツ隣接地の矢立駐車場が「道の駅」に新規登録された日はいつ?
- ④婦人会館で行われる講座名は?
- ⑤女の子のことを大館の方言では何という?

▽応募方法

はがきに住所、氏名、年齢、性別、答え(例①ー②ー)を書いて応募ください。

▽締め切り

5月24日(水) 当日消印有効

▽応募先

〒017大館市宇城中城20番地

広報おおだてクイズ係

※全問正解者の中から抽選で5人に、広報おおだてオリジナルレカ(秋田犬)を贈ります。

▽4月16日号の答え

- ①4年目 ②午前8時
 - ③桂城公園 ④サクランボ
 - ⑤天然記念物
- ▽4月16日号の当選者
- ・平 正樹さん(大滝1区)
 - ・松田勝義さん(二井田・館)
 - ・花岡俊行さん(清水町住宅)
 - ・椿田トキさん(御成町三丁目)
 - ・成田正雄さん(南神明町)
- ※応募総数59、全問正解者数54